

分類：臨床医学アドバンスコース
授業科目名：小児科学（Clinical genetics） - 臨床遺伝学 -
対象学年：4年次選択
時間割コード：71594008
開設学期等：第13週～第13週
単位数：0.5

1. 主任教員

豊野学朋（准教授、小児科学、6158）

2. 担当教員

豊野学朋（准教授、小児科学、6158）
高橋郁子（講師、小児科学、6159）
野口篤子（講師、小児科学、6159）
小野寺洋平（助教、産婦人科学、6163）
納富理絵（非常勤講師、附属病院 看護部）
新井浩和（非常勤講師、秋田赤十字病院 新生児科）
高橋まや（非常勤講師、市立秋田総合病院 小児科）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

ねらい

臨床現場で必要となる遺伝学の基本的知識を習得する。遺伝学における分子生物学的側面のみならず、倫理的配慮、ヒトの多様性についても多角的に理解し、将来ゲノム医療を実施するに必要な知識と姿勢を身につける。

また、関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、医療法（制度）、EBMについて学ぶ。

概要（学習目標）

- 1) 染色体異常、メンデル遺伝の様式と代表疾患を説明できる。（3-2，3-3）
- 2) ミトコンドリア遺伝、トリプレットリピート病、エピジェネティックスについてその病態を理解し、代表的疾患を説明できる。（3-2，3-3）
- 3) 遺伝学的検査の種類と目的について把握する。（4-2）
- 4) 遺伝学における倫理指針、社会的配慮の必要性を理解する。（3-5）
- 5) 生殖細胞変異と体細胞変異の違いを説明できる。（3-2）
- 6) 遺伝カウンセリングの概要を把握する、標準的なルールに準じた家系図を作成できる。（2-1～2-8）
- 7) ゲノムの多様性および多因子遺伝の代表疾患、遺伝要因と環境要因について理解する。代表的な薬理遺伝学における代表的な疾患や薬剤を説明できる。（3-2，3-3）
- 8) 関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、医療法（制度）、EBMについて説明できる。（1-1～1-2，3-1～3-7，4-1～4-6，5-1～5-5）

4. 教科書・参考書

- ・トンプソン&トンプソン遺伝医学 福嶋義光 メディカルサイエンスインターナショナル
- ・遺伝医学への招待改訂第5版新川詔夫南江堂
- ・一般外来で遺伝の相談を受けたとき藤田 潤 医学書院
- ・遺伝カウンセラーのための臨床遺伝学講義 ノート千代豪昭オーム社

5. 成績評価の方法

出席，レポート

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

- ・受入人数 7～8 人
- ・予習や復習などの準備学習
- ・カリキュラム・場所・担当教員は、変更することがあります。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月2日 (水)	5-6 時限	自主学習	テーマ：		
2	7月2日 (水)	7-8 時限	講義	テーマ：遺伝学 1 出生前診断、NIPT	野口篤子	南臨床棟 1 階小児科共 用室
3	7月2日 (水)	9-10 時限	講義	テーマ：遺伝学 2 新生児医療におけるトリソミーおよびその他の先天異常の倫理的側面	新井浩和	南臨床棟 1 階小児科共 用室
4	7月3日 (木)	1-2 時限	自主学習	テーマ：		
5	7月3日 (木)	3-4 時限	講義	テーマ：遺伝学 3 産科外来で経験する、出生前診断から分娩までの実際	小野寺洋平	南臨床棟 1 階小児科共 用室
6	7月3日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：遺伝学 4 がんゲノム診療	野口篤子	南臨床棟 1 階小児科共 用室
7	7月3日 (木)	7-8 時限	講義	テーマ：遺伝学 5 家系図の書き方、ベイズの定理	高橋郁子	南臨床棟 1 階小児科共 用室
8	7月3日 (木)	9-10 時限	講義	テーマ：遺伝学 6 集団遺伝学、Hardy weinberg の法則	高橋郁子	南臨床棟 1 階小児科共 用室
9	7月4日 (金)	1-2 時限	自主学習	テーマ：		
10	7月4日 (金)	3-4 時限	実習	テーマ：遺伝学 7 SDM ロールプレイ「看護の視点から親の状況を捉える」	納富理絵	南臨床棟 1 階小児科共 用室
11	7月4日 (金)	5-6 時限	実習	テーマ：遺伝学 8 遺伝カウンセリングロールプレイ	高橋まや	南臨床棟 1 階小児科共 用室
12	7月4日 (金)	7-8 時限	実習	テーマ：遺伝学 9 遺伝カウンセリングロールプレイ	高橋まや	南臨床棟 1 階小児科共 用室
13	7月4日 (金)	9-10 時限	自主学習	テーマ：		